

株式会社大林組 2026年3月期 第3四半期 決算説明会プレゼンテーション資料

2026年2月9日

PRIME 1802



MAKE BEYOND
つくるを拓く

(業績予想の適切な利用に関する説明)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

1 2025年度業績予想の修正について

2 2025年度第3四半期業績

3 2025年度業績予想

4 事業セグメント別の概況

1

2025年度業績予想の修正について

2025年度業績予想の修正について

2025年11月5日に公表した業績予想(以下、「前回発表予想」)について、以下のとおり再度修正

2025年度 通期連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益	受注高
前回発表予想(A)	百万円 2,570,000	百万円 165,000	百万円 172,000	百万円 149,000	円 銭 214.01	百万円 2,920,000
今回修正予想(B)	2,570,000	195,000	205,000	170,000	244.03	3,050,000
増減額(B-A)	0	+30,000	+33,000	+21,000		+130,000

2025年度 通期個別業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	受注高
前回発表予想(A)	百万円 1,530,000	百万円 111,000	百万円 154,000	百万円 146,000	円 銭 209.70	百万円 1,653,000
今回修正予想(B)	1,515,000	136,000	182,000	165,000	236.85	1,653,000
増減額(B-A)	△15,000	+25,000	+28,000	+19,000		0

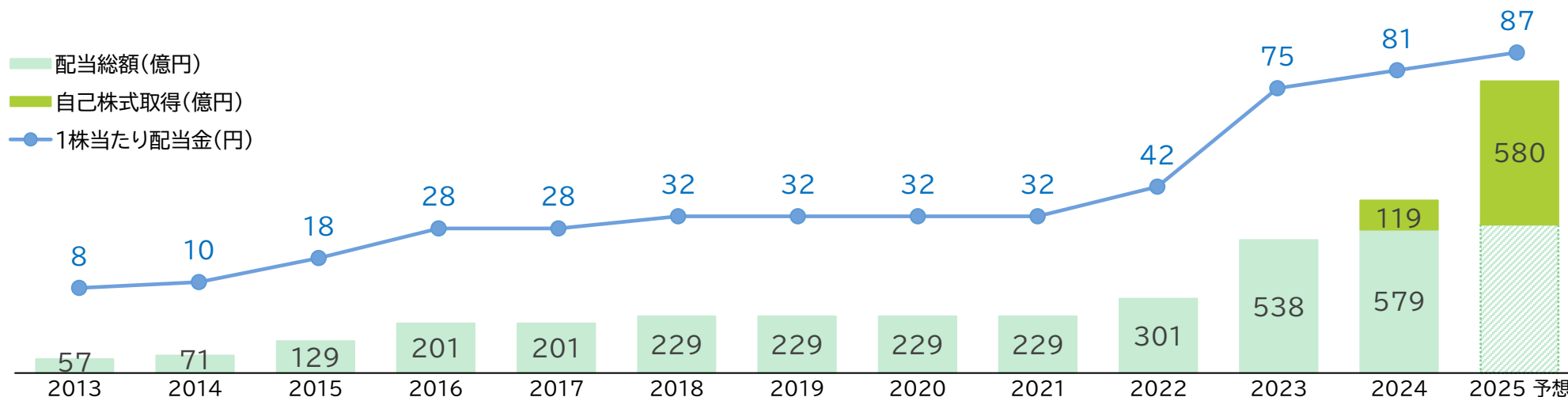
修正の理由

- 国内建築事業における、複数の大型案件やその他工期終盤の案件での原価低減、追加・変更工事獲得などにより、完成工事総利益が増加したこと
- 国内土木事業における、複数の大型案件での設計変更獲得、完成工事高の増加などにより、完成工事総利益が増加したこと
- 海外建設事業における、手持ち工事の採算性改善などにより、完成工事総利益が増加したこと

2025年度配当予想の修正について

普通配当について、「自己資本配当率(DOE)5%程度」を目安とした配当方針に基づき、年間配当金は前回発表予想の1株あたり82円から5円増額の87円を予定

株主還元推移



DOE(%)	1.4	1.6	2.5	3.6	3.1	3.2	2.9	2.6	2.4	3.1	5.0	5.0	5.0
(参考)配当性向(%)	26.6	25.0	20.4	21.3	21.7	20.3	20.3	23.2	58.7	38.8	71.6	39.9	35.7
(参考)総還元性向(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	48.1	-

※2013～2021年度のDOEは参考値

※DOE=年間配当総額(中間+期末)÷{(前期末自己資本+当期末自己資本)÷2}

中期経営計画2017

中期経営計画2022

2

2025年度第3四半期業績

2025年度予想は2月9日発表値
2024年度実績は為替換算方法の変更に伴う遡及修正を反映

2025年度第3四半期業績 サマリー(PL)

連結売上高

18,324億円

前年同期比 $\Delta 679$ 億円 ($\Delta 3.6\%$)
進捗率 71.3%

連結営業利益

1,427億円

前年同期比 +451億円 (+46.2%)
進捗率 73.2%

親会社株主に帰属する 当期純利益

1,317億円

前年同期比 +357億円 (+37.3%)
進捗率 77.5%

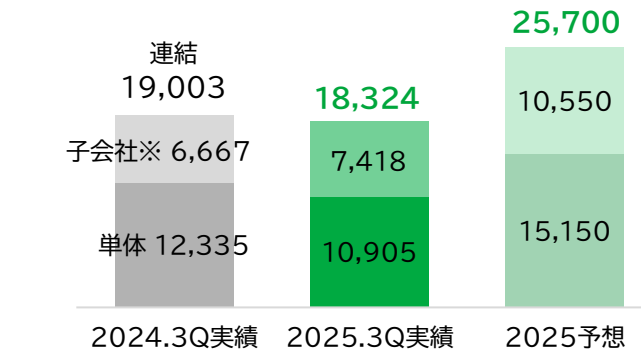
連結受注高

20,095億円

前年同期比 $\Delta 947$ 億円 ($\Delta 4.5\%$)
進捗率 65.9%

連結売上高

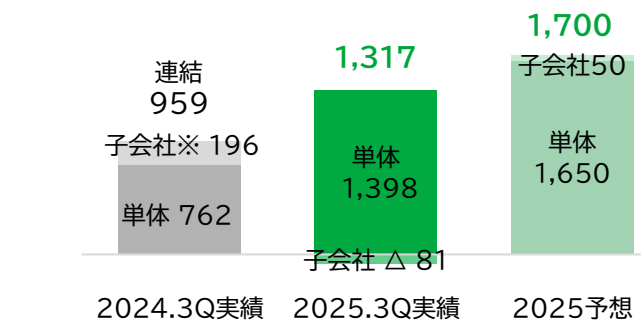
(単位:億円)



国内建築事業において、2024年度の大型案件進捗の反動や施工キャパシティに見合った計画的な受注により完成工事高が減少し、前年同期比で減収

親会社株主に帰属する 当期純利益

(単位:億円)

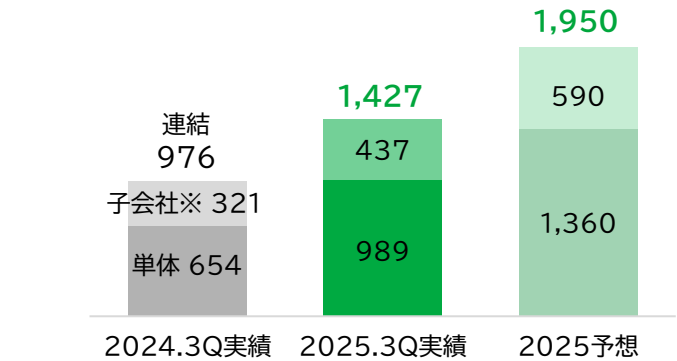


国内建築事業を中心とした営業利益の増加などにより、前年同期比で増益(子会社のマイナスは、子会社の配当方針見直しによる連結仕訳に伴う一時的な影響によるもの)

※子会社には連結仕訳を含む

連結営業利益

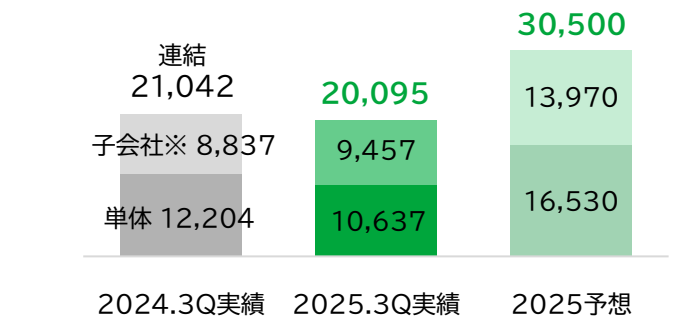
(単位:億円)



国内建築事業における追加・変更工事獲得や採算性の良い案件の寄与度の高まり、海外土木事業における手持ち工事の順調な進捗、不動産事業における開発物件売却などにより、前年同期比で増益

連結受注高

(単位:億円)



国内建築・土木事業とも旺盛な需要が続く一方、2024年度の大型案件受注の反動や現状の施工キャパシティに鑑みた受注活動の継続により、前年同期比で減少

2025年度予想は2月9日発表値

2024年度実績は為替換算方法の変更に伴う遡及修正を反映

連結 / 単体 PL

(単位:億円)

		連結									
		2024年度 第3四半期 実績 A		2025年度 第3四半期 実績 B		増減額 B-A		2025年度 予想 C		進捗率(%) B/C	
完成工事高	建築	13,588		11,877		△1,711		16,500		72.0	
	土木	4,682		5,402		+719		7,500		72.0	
	計	18,270		17,279		△991		24,000		72.0	
不動産事業等売上高		732		1,045		+312		1,700		61.5	
売上高		19,003		18,324		△679		25,700		71.3	
完成工事総利益	建築	% -	-	% -	-	-		% -	-	-	
	土木	-	-	-	-	-		-	-	-	
	計	10.3	1,889	13.9	2,408	+519		13.8	3,320	72.6	
不動産事業等総利益		23.8	174	21.7	226	+51		19.4	330	68.7	
売上総利益		10.9	2,063	14.4	2,635	+571		14.2	3,650	72.2	
販売費及び一般管理費		5.8	1,087	6.6	1,208	+120		6.6	1,700	71.1	
営業利益		5.1	976	7.8	1,427	+451		7.6	1,950	73.2	
経常利益		5.6	1,061	8.3	1,516	+454		8.0	2,050	74.0	
親会社株主に帰属する当期純利益		5.0	959	7.2	1,317	+357		6.6	1,700	77.5	

(単位:億円)

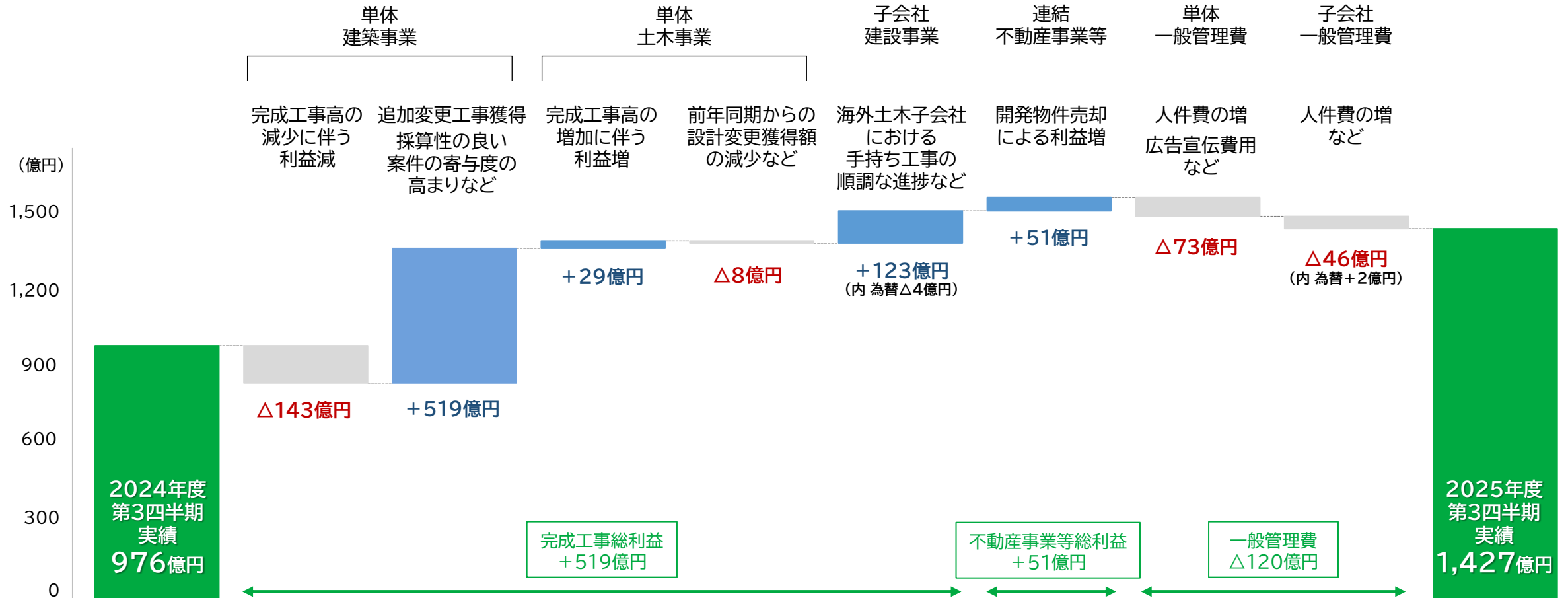
単体							
2024年度 第3四半期 実績 D		2025年度 第3四半期 実績 E		増減額 E-D	2025年度 予想 F		進捗率(%) E/F
9,703		8,040		△1,663	11,100		72.4
2,485		2,640		+155	3,700		71.4
12,188		10,680		△1,508	14,800		72.2
147		225		+77	350		64.3
12,335		10,905		△1,430	15,150		72.0
% 8.7	839	% 15.1	1,215	+375	% 15.2	1,690	71.9
18.9	468	18.5	489	+20	17.8	660	74.2
10.7	1,308	16.0	1,704	+395	15.9	2,350	72.5
20.0	29	18.8	42	+12	17.1	60	70.5
10.8	1,338	16.0	1,746	+408	15.9	2,410	72.5
5.5	683	6.9	757	+73	6.9	1,050	72.1
5.3	654	9.1	989	+335	9.0	1,360	72.8
6.1	747	13.3	1,450	+702	12.0	1,820	79.7
6.2	762	12.8	1,398	+635	10.9	1,650	84.8

2025年度予想は2月9日発表値

2024年度実績は為替換算方法の変更に伴う遡及修正を反映

連結営業利益の増減要因（対前年同期実績）

2025年度第3四半期の連結営業利益は、国内建築事業における追加・変更工事獲得や採算性の良い案件の寄与度の高まり、海外土木子会社における手持ち工事の順調な進捗、不動産事業における第2四半期の開発物件売却などにより、前年同期比で増益となった



2024年度実績は為替換算方法の変更に伴う遡及修正を反映

報告セグメント別 PL

(単位:億円)

			2024年度 第3四半期 実績		
			売上高 A	営業利益 B	営業利益率 B/A
		国内建築	9,974	433	4.3%
		海外建築	3,614	88	2.4%
		建築	13,588	522	3.8%
		国内土木	2,936	310	10.6%
		海外土木	1,745	51	2.9%
	土木		4,682	361	7.7%
	建設事業		18,270	883	4.8%
	不動産事業		390	77	19.8%
	その他		342	15	4.4%
	不動産事業等		732	92	12.6%
合計			19,003	976	5.1%

(単位:億円)

			2025年度 第3四半期 実績		
			売上高 C	営業利益 D	営業利益率 D/C
			8,291	769	9.3%
			3,585	108	3.0%
			11,877	877	7.4%
			3,079	316	10.3%
			2,323	100	4.3%
			5,402	416	7.7%
			17,279	1,293	7.5%
			582	120	20.7%
			462	12	2.7%
			1,045	133	12.8%
合計			18,324	1,427	7.8%

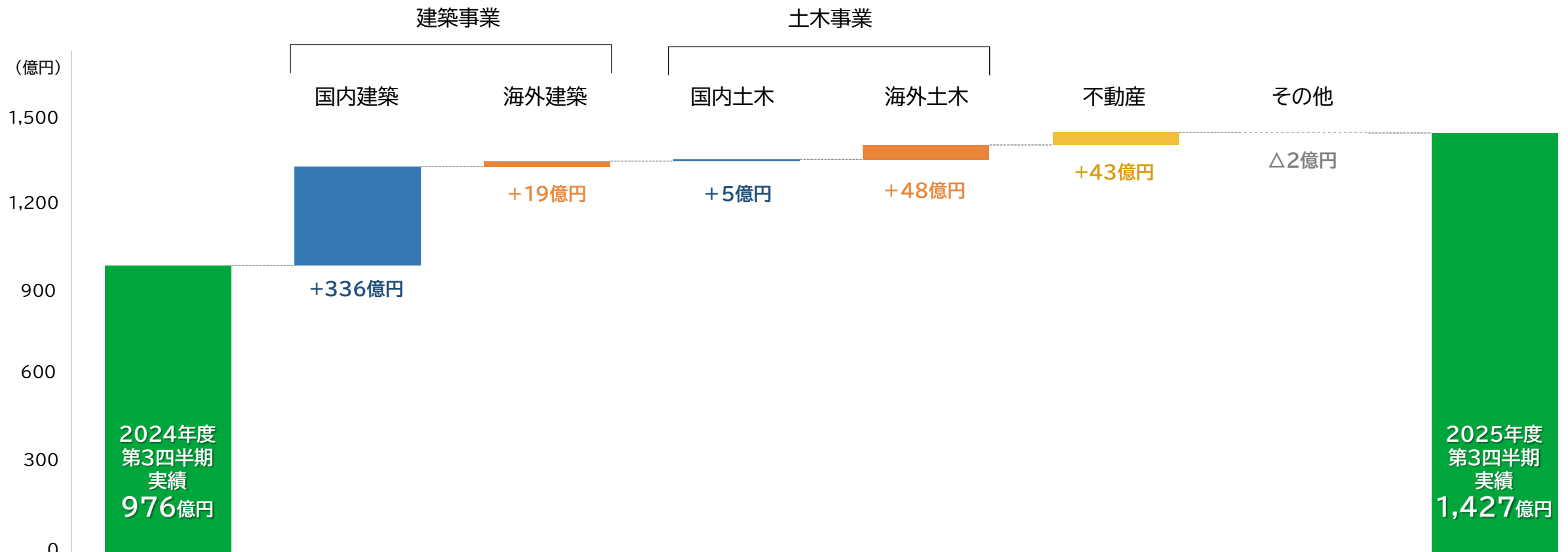
(単位:億円)

		増減額	
		売上高 C-A	営業利益 D-B
		△1,682	+336
		△28	+19
		△1,711	+355
		+142	+5
		+577	+48
		+719	+54
		△991	+410
		+191	+43
		+120	△2
		+312	+40
合計		△679	+451

2024年度実績は為替換算方法の変更に伴う遡及修正を反映

連結営業利益の増減要因（報告セグメント別・対前年同期実績）

報告セグメント別営業利益の前年同期比での増加要因としては、国内建築事業における追加・変更工事獲得や採算性の良い案件の寄与度の高まり、海外土木事業における手持ち工事の順調な進捗、不動産事業における第2四半期の開発物件売却などが挙げられる



2024年度実績は為替換算方法の変更に伴う遡及修正を反映

連結 / 単体 受注高

(単位:億円)

			連結		
			2024年度 第3四半期 実績 A	2025年度 第3四半期 実績 B	増減額 B-A
建設事業	建築	国内	8,646	7,955	△690
		海外	2,931	5,031	+2,099
		計	11,578	12,987	+1,408
	土木	国内	3,615	2,541	△1,073
		海外	4,867	3,702	△1,164
		計	8,482	6,244	△2,238
	計	国内	12,261	10,497	△1,764
		海外	7,799	8,734	+934
		計	20,061	19,231	△829
不動産事業等			980	863	△117
合計			21,042	20,095	△947

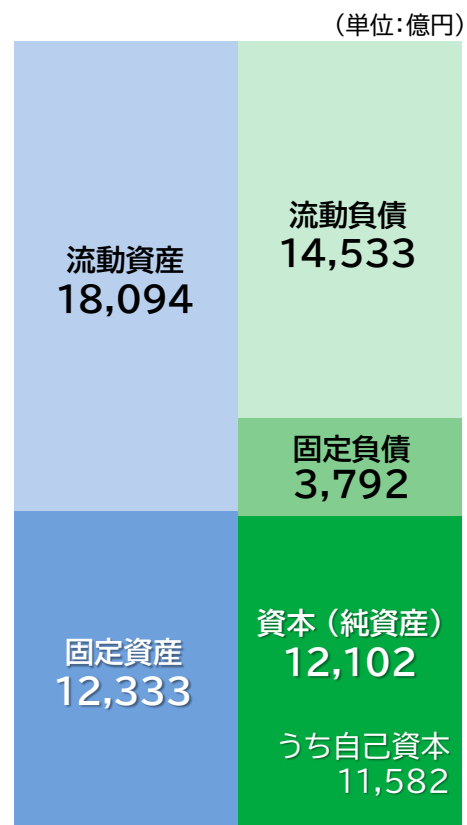
(単位:億円)

単体		
2024年度 第3四半期 実績 C	2025年度 第3四半期 実績 D	増減額 D-C
8,302	7,730	△572
38	26	△11
8,340	7,756	△584
3,037	1,867	△1,170
678	779	+101
3,716	2,647	△1,068
11,340	9,598	△1,742
716	806	+89
12,057	10,404	△1,652
147	232	+85
12,204	10,637	△1,567

2024年度実績は為替換算方法の変更に伴う遡及修正を反映

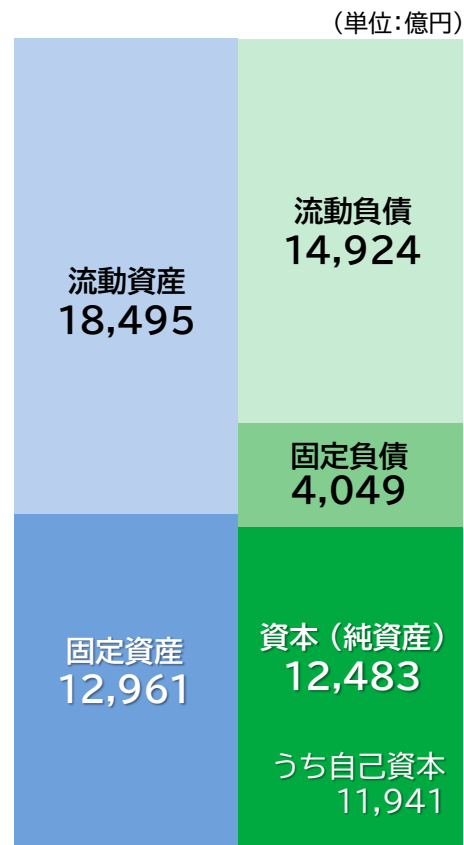
連結 BS

2025年3月末



総資産
30,427億円

2025年12月末



総資産
31,457億円

資産／負債: 主な残高・増減

(単位: 億円)	25年3月末	25年12月末	増減額
現金預金	3,947	3,350	△596
政策保有株式	2,735	2,842	+106
有利子負債	3,627	5,014	+1,387
建設事業収支(工事関連資産-負債)※	2,289	3,129	+839

※工事関連資産＝受取手形・完成工事未収入金等＋電子記録債権＋未成工事支出金＋PFI等棚卸資産
工事関連負債＝支払手形・工事未払金等＋電子記録債務＋未成工事受入金

自己資本: 主な増減

(単位: 億円)	
2025年3月(前期)末自己資本残高	11,582
当期利益	+1,317
配当支払	△577
自己株式取得	△580
その他の包括利益のうち	
A) 政策保有株式の売却による影響	△279
B) 有価証券の株価変動等による影響	+454
C) 為替換算調整勘定	△19
その他	+44
2025年12月(当第3四半期)末自己資本残高	11,941

3

2025年度業績予想

2025年度予想は2月9日発表値
2024年度実績は為替換算方法の変更に伴う遡及修正を反映

2025年度業績予想 サマリー(PL)

連結売上高

25,700億円

前期比 △207億円 (△0.8%)

連結営業利益

1,950億円

前期比 +525億円 (+36.9%)

親会社株主に帰属する 当期純利益

1,700億円

前期比 +246億円 (+17.0%)

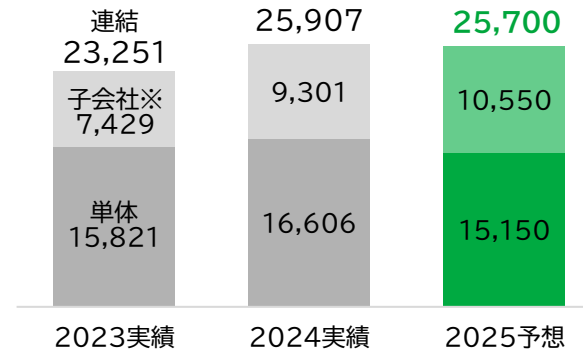
連結受注高

30,500億円

前期比 △2,666億円 (△8.0%)

連結売上高

(単位:億円)

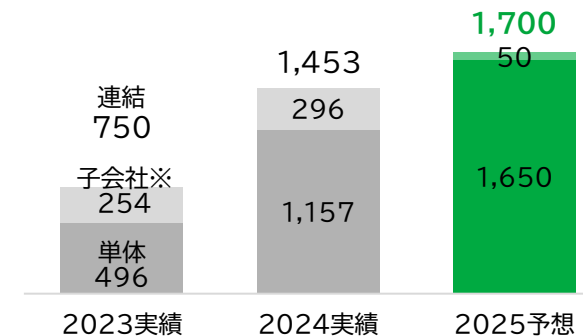


国内建築事業において、2024年度の大型案件進捗の反動や施工キャパシティに見合った計画的な受注などにより完成工事高が減少し、前期比で減収見込み

親会社株主に帰属する

当期純利益

(単位:億円)

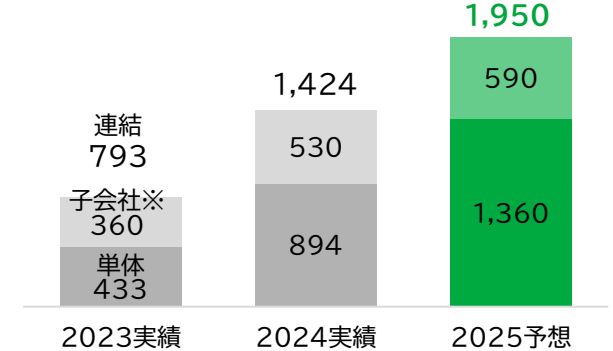


国内建築事業を中心とした営業利益の増加などにより、前期比で増益見込み

※子会社には連結仕訳を含む

連結営業利益

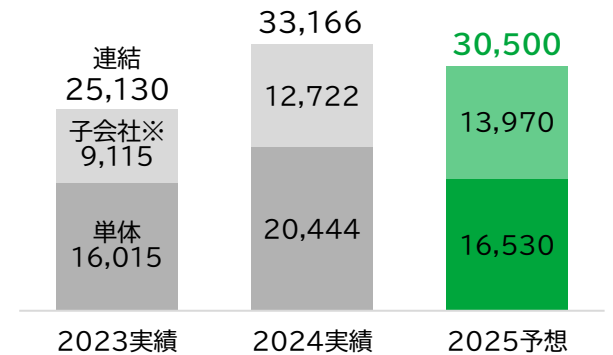
(単位:億円)



国内建築事業における複数大型案件やその他工期終盤の案件での原価低減や追加・変更工事獲得、国内土木事業における設計変更獲得、海外建設事業における採算改善などにより、前期比増益見込み

連結受注高

(単位:億円)



国内建築・土木事業とも旺盛な需要が続く一方、2024年度の大型案件受注の反動や現状の施工キャパシティに鑑みた受注活動の継続により、前期比で減少見込み

2025年度予想は2月9日発表値

2024年度実績は為替換算方法の変更に伴う遡及修正を反映

2025年度業績予想 サマリー(財政状態)

連結 自己資本

12,200億円

前期比 +617億円 (+5.3%)

連結 有利子負債

3,400億円

前期比 △227億円 (△6.3%)

ROIC

8.5 %

前期比 +2.1pt

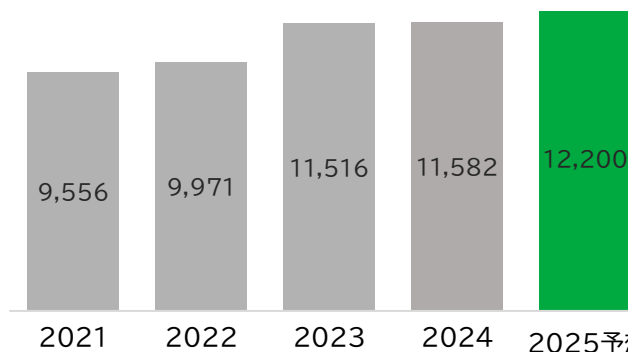
ROE

14.3 %

前期比 +1.7pt

連結自己資本

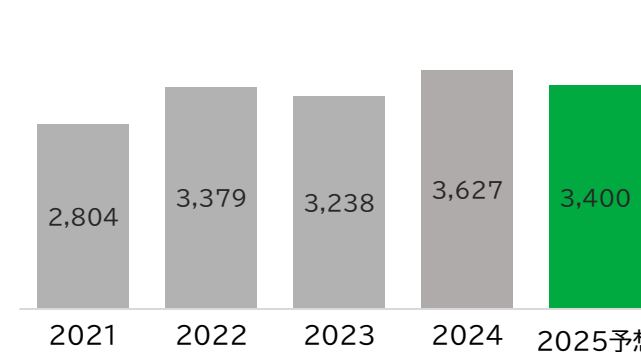
(単位:億円)



2月9日に適時開示した業績予想の修正等により、連結自己資本は前期比で増加する見込み(※)

連結有利子負債

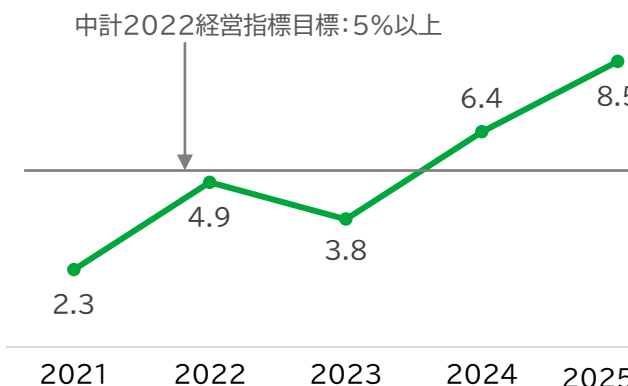
(単位:億円)



複数の大型工事の竣工に伴い、2025年度においては未収施工高の回収が進むことから、有利子負債は減少する見通し

ROIC

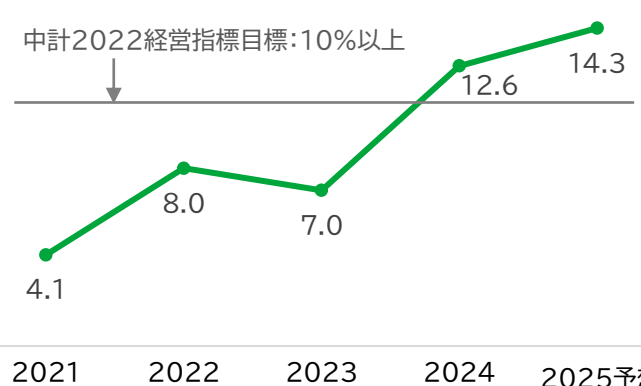
(単位:%)



ROICは、営業利益の増加により、2024年度を上回る見通し

ROE

(単位:%)



ROEは、2024年度に続き、高い水準を維持できる見通し

2025年度予想は2月9日発表値

2024年度実績は為替換算方法の変更に伴う遡及修正を反映

※ 2025年12月末の自己資本額に2025年度第4四半期の当期純利益予想額、実施済みの自己株式取得による影響額、配当支払による利益剰余金の減少額および政策保有株式売却によるその他有価証券評価差額金の調整額を加減算した値

連結 / 単体 PL 予想

(単位:億円)

		連結		
		2024年度 実績 A	2025年度 予想 B	増減額 B-A
完成工事高	建築	18,150	16,500	△1,650
	土木	6,527	7,500	+972
	計	24,677	24,000	△677
不動産事業等売上高		1,230	1,700	+469
売上高		25,907	25,700	△207
完成工事総利益	建築	% -	% -	-
	土木	-	-	-
	計	10.8	13.8	+665
不動産事業等総利益		24.4	19.4	+30
売上総利益		11.4	14.2	+696
販売費及び一般管理費		5.9	6.6	+170
営業利益		5.5	7.6	+525
経常利益		5.9	8.0	+527
親会社株主に帰属する当期純利益		5.6	6.6	+246

(単位:億円)

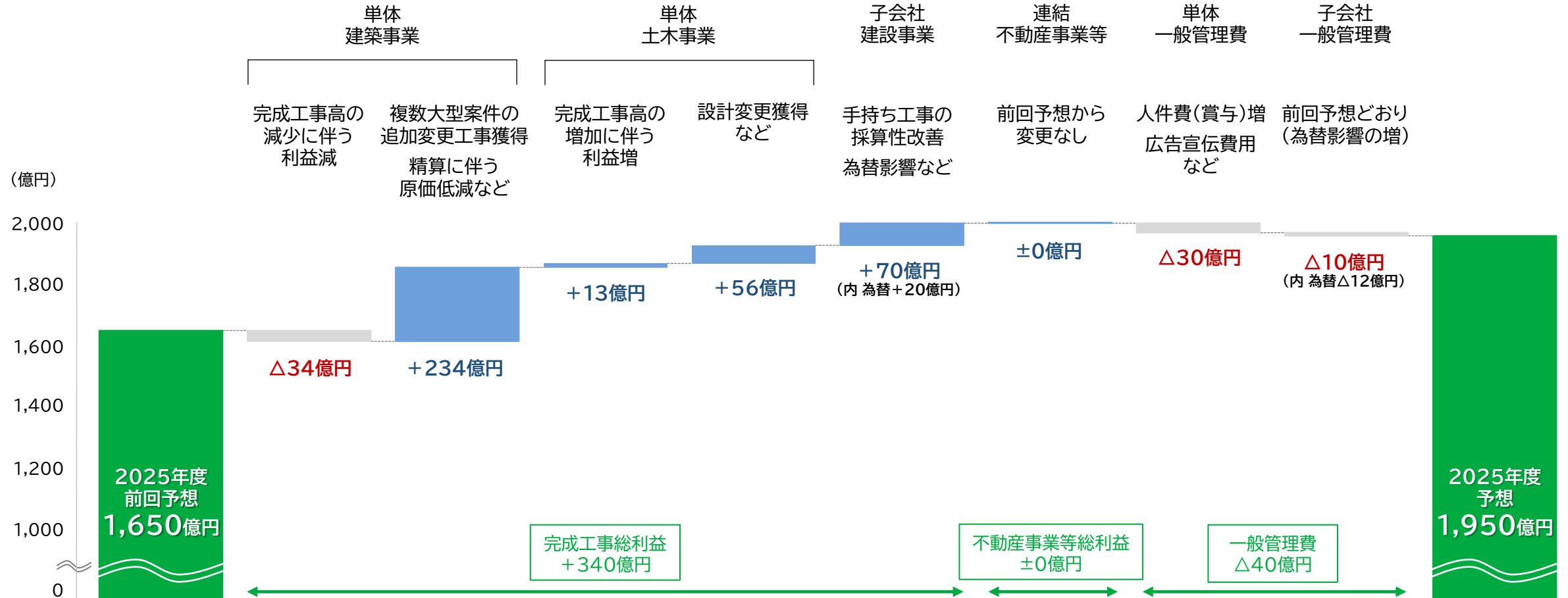
単体				
	2024年度 実績 C	2025年度 予想 D	増減額 D-C	
	12,977	11,100	△1,877	
	3,386	3,700	+313	
	16,363	14,800	△1,563	
	243	350	+106	
	16,606	15,150	△1,456	
% 9.1	1,180	% 15.2	1,690	+509
18.3	619	17.8	660	+40
11.0	1,799	15.9	2,350	+550
20.1	48	17.1	60	+11
11.1	1,848	15.9	2,410	+561
5.7	954	6.9	1,050	+95
5.4	894	9.0	1,360	+465
5.9	986	12.0	1,820	+833
7.0	1,157	10.9	1,650	+492

2025年度予想は2月9日発表値

2024年度実績は為替換算方法の変更に伴う遡及修正を反映

連結営業利益の増減要因 予想(対前回予想)

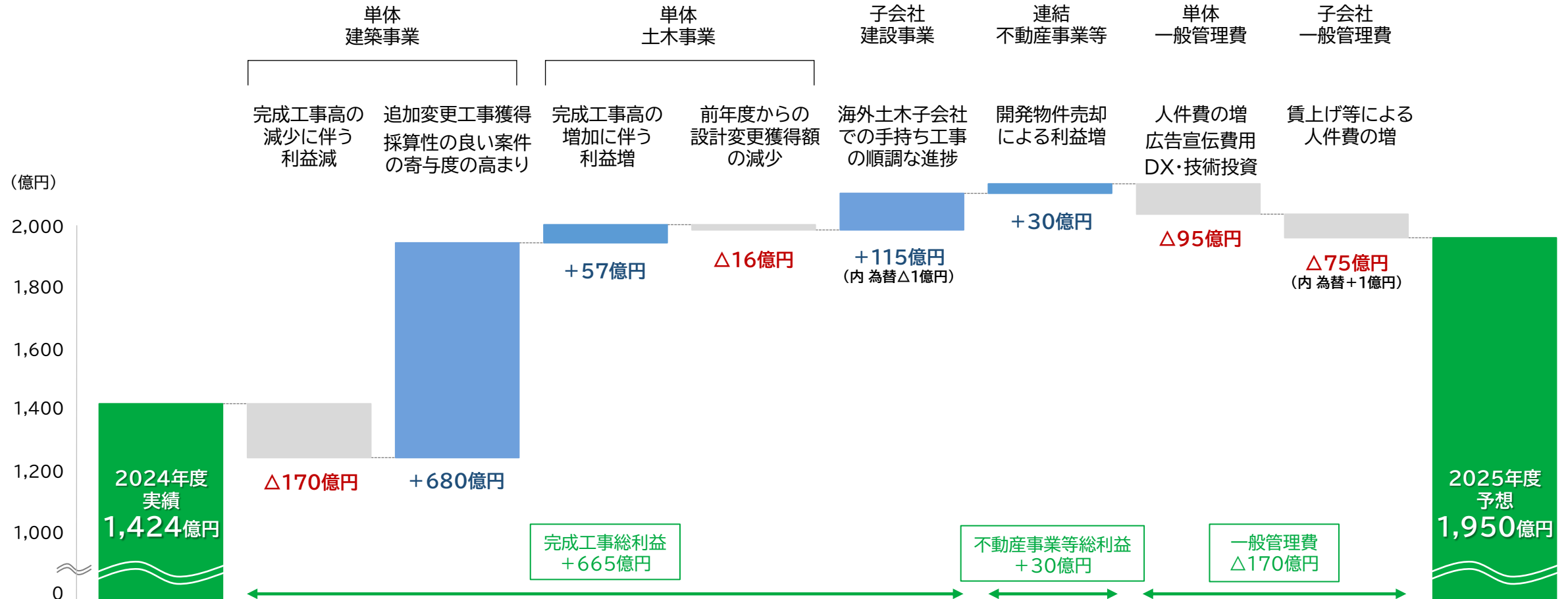
連結営業利益予想は、国内建築事業における複数の大型案件やその他工期終盤の案件での原価低減や追加・変更工事獲得、国内土木事業における設計変更獲得、海外建設子会社における手持ち工事の採算性改善などにより、1,950億円に上方修正



2025年度前回予想は11月5日発表値
2025年度予想は2月9日発表値

連結営業利益の増減要因 予想(対2024年度実績)

連結営業利益予想は、国内建築事業における追加・変更工事獲得や採算性の良い案件の寄与度の高まり、海外土木子会社における手持ち工事の順調な進捗、不動産事業における開発物件売却などにより、前期比525億円増の1,950億円となる見通し



2025年度予想は2月9日発表値

2024年度実績は為替換算方法の変更に伴う遡及修正を反映

報告セグメント別 PL 予想

(単位:億円)

			2024年度 実績		
			売上高 A	営業利益 B	営業利益率 B/A
		国内建築	13,371	627	4.7%
		海外建築	4,778	128	2.7%
	建築		18,150	755	4.2%
		国内土木	4,022	405	10.1%
		海外土木	2,504	80	3.2%
	土木		6,527	485	7.4%
	建設事業		24,677	1,241	5.0%
		不動産事業		727	160
その他		502	22	4.4%	
不動産事業等		1,230	182	14.9%	
合計			25,907	1,424	5.5%

(単位:億円)

			2025年度 予想		
			売上高 C	営業利益 D	営業利益率 D/C
			11,500	1,070	9.3%
			5,000	120	2.4%
			16,500	1,190	7.2%
			4,250	420	9.9%
			3,250	140	4.3%
			7,500	560	7.5%
			24,000	1,750	7.3%
			1,020	185	18.1%
			680	15	2.2%
			1,700	200	11.8%
合計			25,700	1,950	7.6%

(単位:億円)

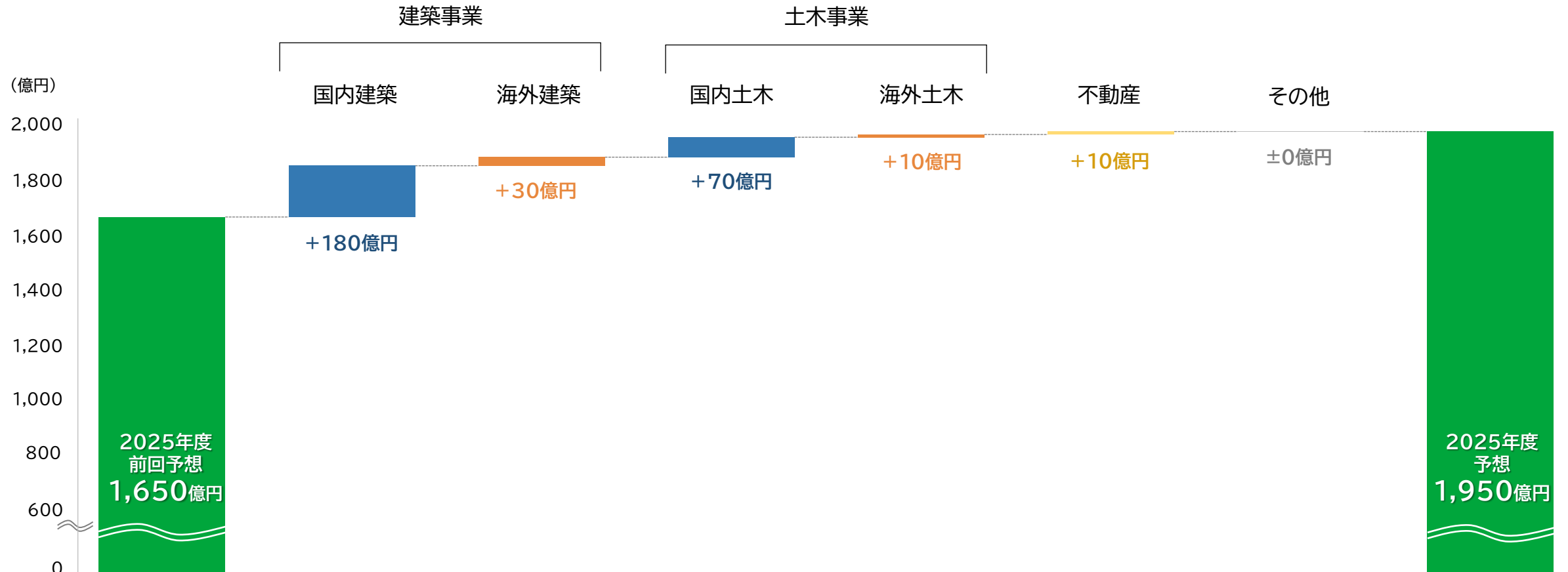
		増減額	
		売上高 C-A	営業利益 D-B
		△1,871	+442
		+221	△8
		△1,650	+434
		+227	+14
		+745	+59
		+972	+74
		△677	+508
		+292	+24
		+177	△7
		+469	+17
合計		△207	+525

2025年度予想は2月9日発表値

2024年度実績は為替換算方法の変更に伴う遡及修正を反映

連結営業利益の増減要因 予想（報告セグメント別・対前回予想）

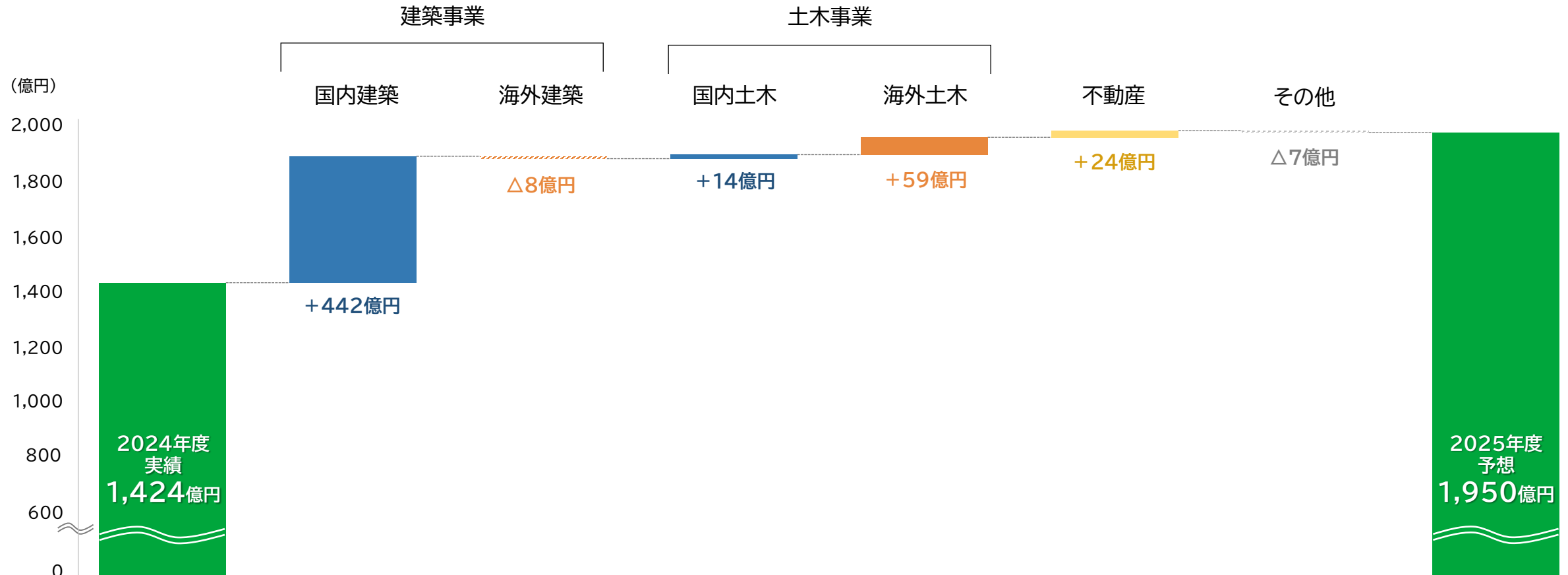
報告セグメント別営業利益の前回予想比での増加要因としては、国内建築事業における複数の大型案件やその他工期終盤の案件での原価低減や追加・変更工事獲得、国内土木事業における設計変更獲得、海外建設子会社における手持ち工事の採算性改善などが挙げられる



2025年度前回予想は11月5日発表値
2025年度予想は2月9日発表値

連結営業利益の増減要因 予想（報告セグメント別・対2024年度実績）

報告セグメント別営業利益の前期比での増加要因としては、国内建築事業における追加・変更工事獲得や採算性の良い案件の寄与度の高まり、海外土木子会社における手持ち工事の順調な進捗、不動産事業における開発物件売却などが挙げられる



2025年度予想は2月9日発表値

2024年度実績は為替換算方法の変更に伴う遡及修正を反映

国内建設事業の受注環境について

国内建築

マーケットの状況

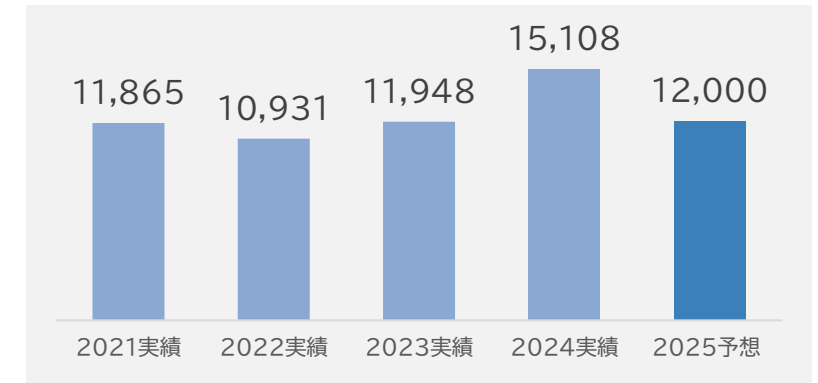
- 生産拠点の国内回帰や政府の特定重要物資の指定により、半導体、工作機械、一般機械、電気機械など、幅広い分野の建設需要を押し上げ
- 計画中止・延期となる案件も一部見られるものの、都市部の大型再開発やデータセンターの需要も継続
- 工事計画情報量は2028年度まで高水準で積み上がる一方、施工キャパシティやサプライチェーンの確保などを考慮して取組み案件を厳選している状況。引き続き採算性を重視した受注活動を継続

2025年度予想(単体)

- 2025年度予想:12,000億円
- 2025年度は施工キャパシティに見合った受注高計画とし、順調に進捗

受注高の推移(単体国内建築)

(単位:億円)



国内土木

マーケットの状況

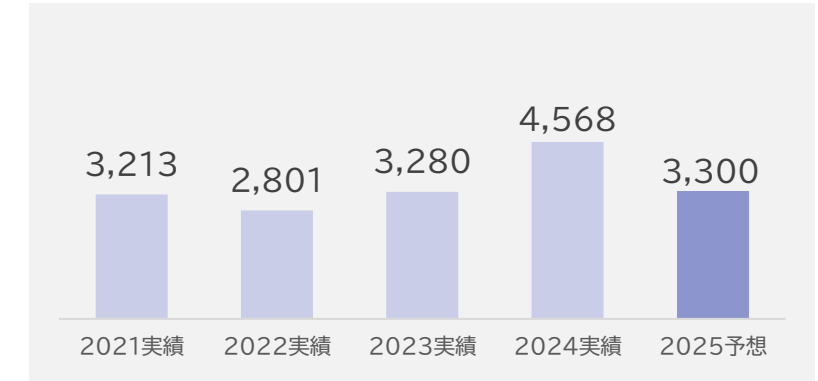
- 官庁工事は、防災・減災、国土強靱化対策事業などで堅調に推移。全体として概ね横ばいからやや拡大傾向で推移すると予想。今後発注が増えることが見込まれる防衛関連施設整備事業にも期待
- 民間工事は、首都圏の鉄道工事に加え、再生可能エネルギーや脱炭素関連ビジネスの市場拡大が期待できるなど、当面は底堅く推移すると予想
- 官庁工事は入札が原則であり、競争環境が厳しい状況に変化はない

2025年度予想(単体)

- 2025年度予想:3,300億円
- 2025年度は施工キャパシティに見合った受注高計画とし、順調に進捗

受注高の推移(単体国内土木)

(単位:億円)



2025年度予想は2月9日発表値

海外建設事業の受注環境について

海外建築

マーケットの状況

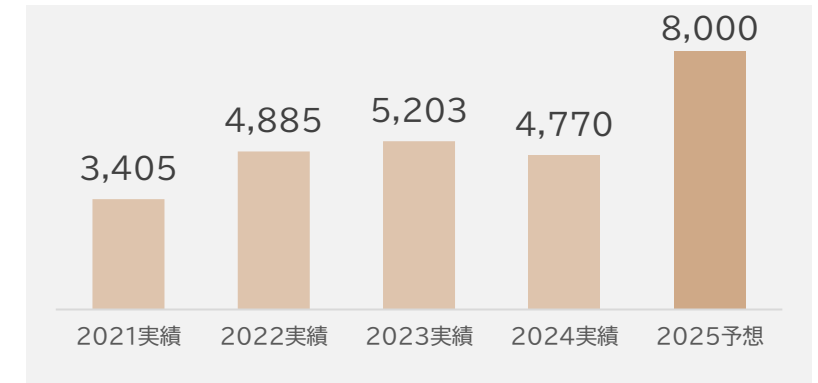
- 北米では、主要子会社ウェブコーのメインターゲットである民間不動産デベロッパーを中心に、昨今の金利政策等の影響により設備投資が停滞していたが、利下げ局面に入り改善の兆しがみられる。公共の教育、医療施設も安定的に成長
- アジアでは、東南アジア各国により波はあるものの、全体としては設備投資が堅調に推移する見込み
- 北米・アジアのいずれにおいても、トランプ政権による相互関税政策の影響について注視が必要

2025年度予想(連結)

- 2025年度予想:8,000億円
- 2025年度は北米・アジア両地域における大型工事受注により、2024年度から大幅に増加する見通し

受注高の推移(連結海外建築)

(単位:億円)



海外土木

マーケットの状況

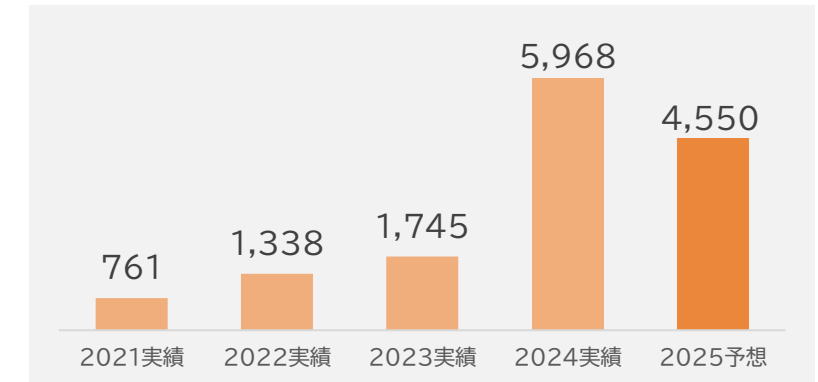
- 北米では、2025年以降もインフラ・土木分野において安定的な市場成長が見込まれ、水処理施設を手掛けるMWH社(2023年度連結子会社化)においても旺盛な需要が継続
- アジアでは、エネルギーや交通インフラ関連の建設投資を中心に堅調に推移する見込み

2025年度予想(連結)

- 2025年度予想:4,550億円
- 2025年度は前年度の大型案件受注による反動減を見込むも、安定的に受注を確保する見通し

受注高の推移(連結海外土木)

(単位:億円)



2025年度予想は2月9日発表値

2024年度実績は為替換算方法の変更に伴う遡及修正を反映

連結 / 単体 受注高 予想

(単位:億円)

			連結		
			2024年度 実績 A	2025年度 予想 B	増減額 B-A
建設事業	建築	国内	15,545	12,450	△3,095
		海外	4,770	8,000	+3,229
		計	20,316	20,450	+133
	土木	国内	5,334	4,100	△1,234
		海外	5,968	4,550	△1,418
		計	11,302	8,650	△2,652
	計	国内	20,879	16,550	△4,329
		海外	10,739	12,550	+1,810
		計	31,618	29,100	△2,518
不動産事業等			1,547	1,400	△147
合計			33,166	30,500	△2,666

(単位:億円)

			単体		
			2024年度 実績 C	2025年度 予想 D	増減額 D-C
			15,108	12,000	△3,108
			54	60	+5
			15,162	12,060	△3,102
			4,568	3,300	△1,268
			469	850	+380
			5,038	4,150	△888
			19,676	15,300	△4,376
			524	910	+385
			20,200	16,210	△3,990
			243	320	+76
			20,444	16,530	△3,914

2025年度予想は2月9日発表値

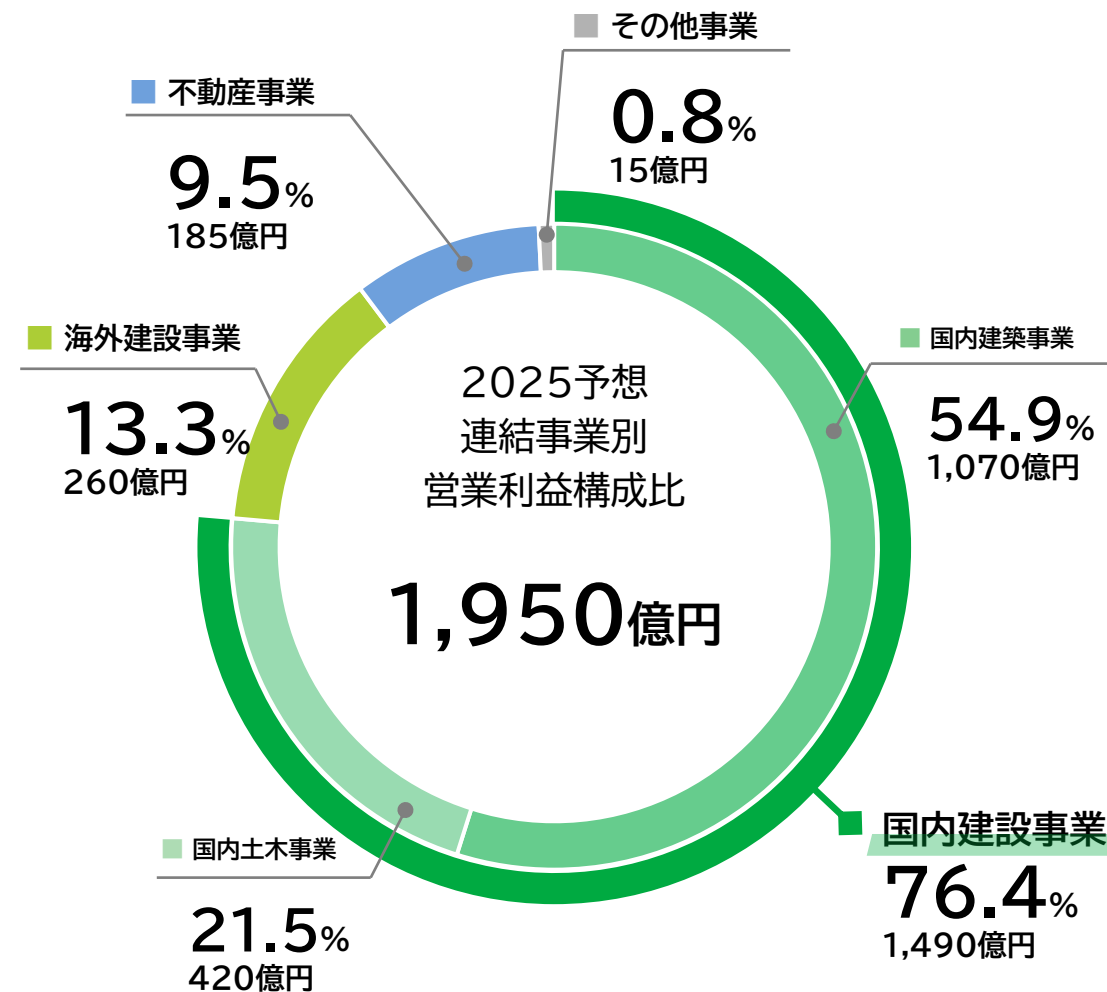
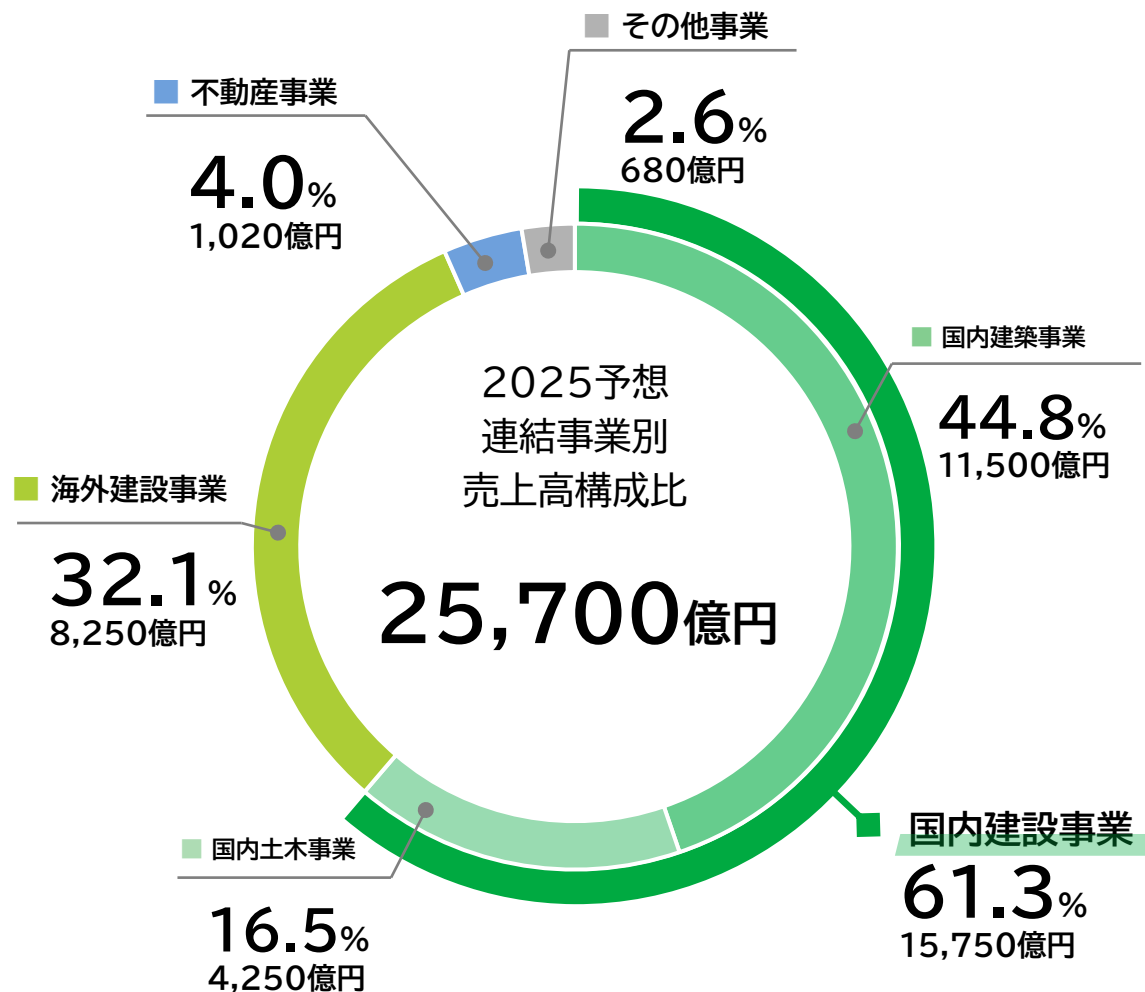
2024年度実績は為替換算方法の変更に伴う遡及修正を反映

4

事業セグメント別の概況

2025年度予想は2月9日発表値
2024年度実績は為替換算方法の変更に伴う遡及修正を反映

事業規模

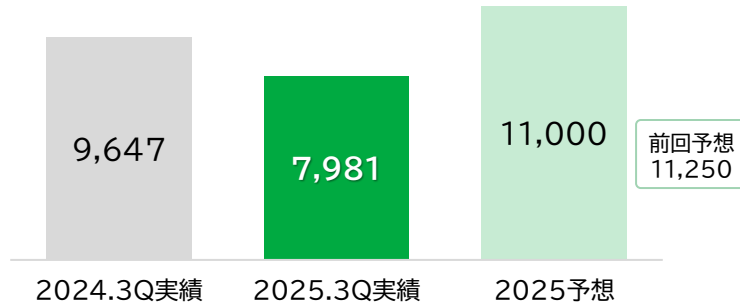


2025年度予想は2月9日発表値

国内建築事業(単体)

完成工事高

(単位:億円)



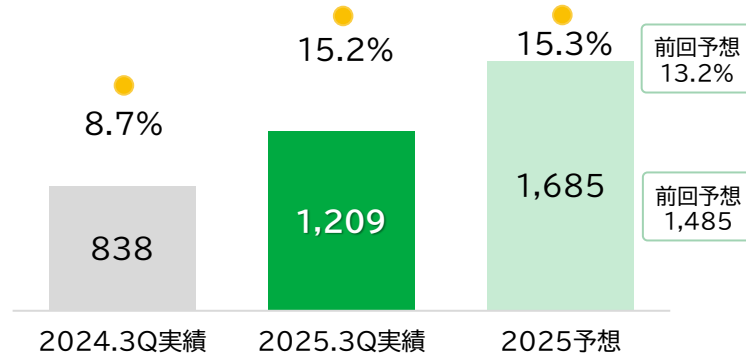
3Q実績 前年同期比 △1,665億円 (△17.3%)



※2024年度通期実績比

完成工事総利益／率

(単位:億円)

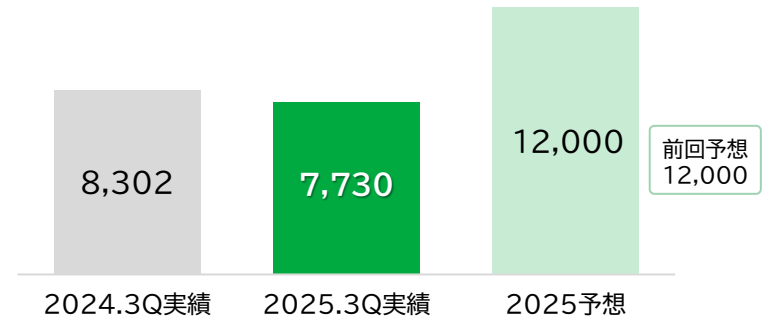


3Q実績 前年同期比 +371億円 (+44.3%)



受注高

(単位:億円)



3Q実績 前年同期比 △572億円 (△6.9%)



2025年度第3四半期業績

- 完成工事高は、2024年度の大型案件進捗の反動や施工キャパシティに見合った計画的な受注などにより、前年同期比1,665億円の減収
- 完成工事総利益は、追加請負金や追加変更工事獲得、採算性の良い案件の寄与度の高まりなどにより、前年同期比371億円の増益
- 受注高は、2024年度の大型案件受注の反動や現状の施工キャパシティに鑑みた受注活動の継続により、前年同期比572億円の減少

2025年度通期見通し

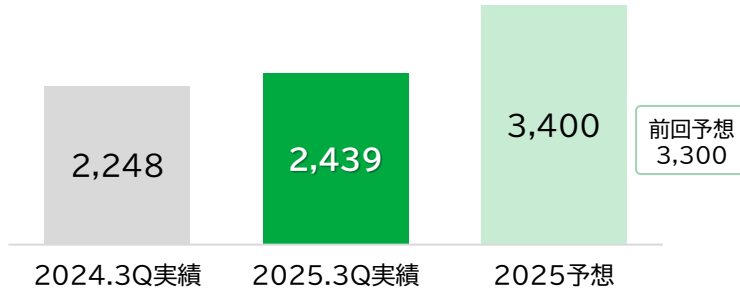
- 完成工事高は、2024年度の大型案件進捗の反動や施工キャパシティに見合った計画的な受注などにより、前期比で減収見込み
- 完成工事総利益は、複数大型案件やその他工期終盤の案件において、追加請負金や追加変更工事の獲得、精算に伴う工事原価の精査等により損益が改善し、前期比で大幅増益見込み
- 受注高は、2024年度の大型案件受注ならびに現状の施工キャパシティに鑑み、前期比で大幅減となる見込み

2025年度予想は2月9日発表値
前回予想は11月5日発表値

国内土木事業(単体)

完成工事高

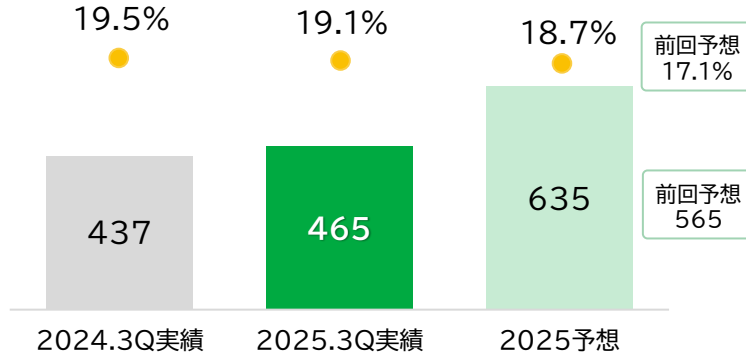
(単位:億円)



※2024年度通期実績比

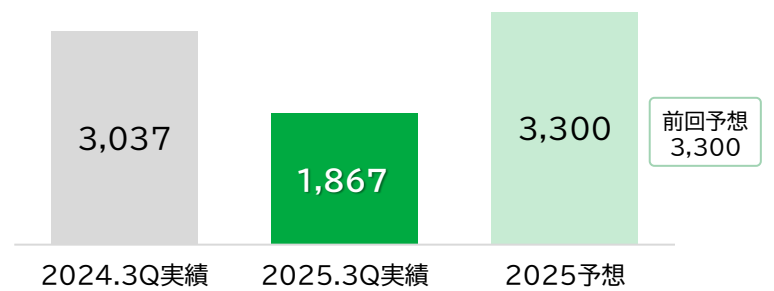
完成工事総利益／率

(単位:億円)



受注高

(単位:億円)



2025年度第3四半期業績

- 完成工事高は、手持ち工事の順調な進捗により、前年同期比191億円の増収
- 完成工事総利益は、完成工事高の増加に伴い、前年同期比27億円の増益
- 受注高は、前年同期に比べ大型案件の受注が減少したことにより、1,170億円の減少

2025年度通期見通し

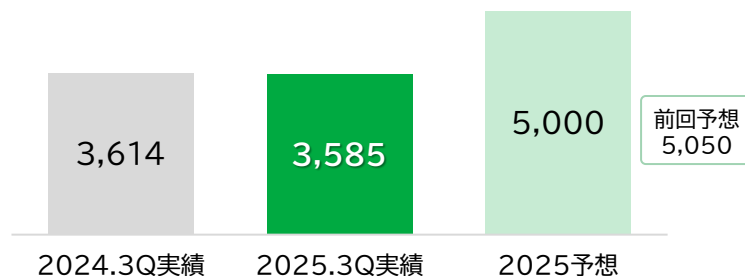
- 完成工事高は、引き続き手持ち工事が順調に進捗し、前期比で増収見込み
- 完成工事総利益は、完成工事高の増加に加え、複数大型案件での設計変更獲得や原価低減による損益改善を織り込み、前期比で増益見込み
- 受注高は、過年度の受注量と現状の施工キャパシティに鑑み、前期比で大幅減となる見込み

2025年度予想は2月9日発表値
前回予想は11月5日発表値

海外建築事業(連結)

完成工事高

(単位:億円)



3Q実績 前年同期比 △28億円 (△0.8%)



※2024年度通期実績比

営業利益

(単位:億円)

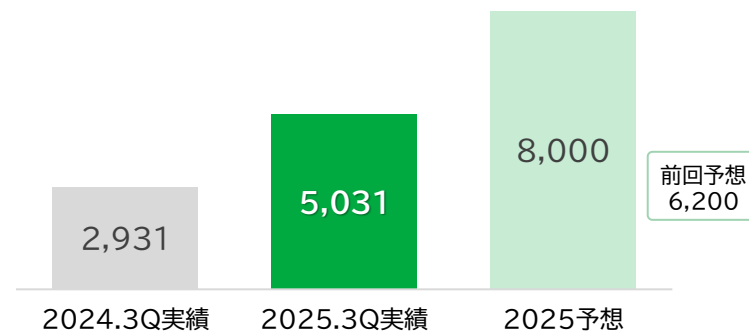


3Q実績 前年同期比 +19億円 (+22.0%)



受注高

(単位:億円)



3Q実績 前年同期比 +2,099億円 (+71.6%)



2025年度第3四半期業績

- 完成工事高は、アジア地域における大型案件の順調な進捗の一方、北米地域における過年度の受注高減少の影響などにより、前年同期比28億円の減収
- 営業利益は、シンガポールを中心としたアジア地域における大型案件の順調な進捗などにより、前年同期比19億円の増益
- 受注高は、北米・アジア両地域における大型案件の受注により、前年同期比2,099億円の増加

2025年度通期見通し

- 完成工事高は、北米地域における過年度の受注高減少の一方、手持ち工事が豊富な大林シンガポール的大幅増収などがカバーし、前期比で増収見込み
- 営業利益は、北米子会社における減収の影響などから、前期比で減益見込み
- 受注高は、北米・アジア両地域における大型案件の受注により、前期比で大幅増となる見込み

2025年度予想は2月9日発表値

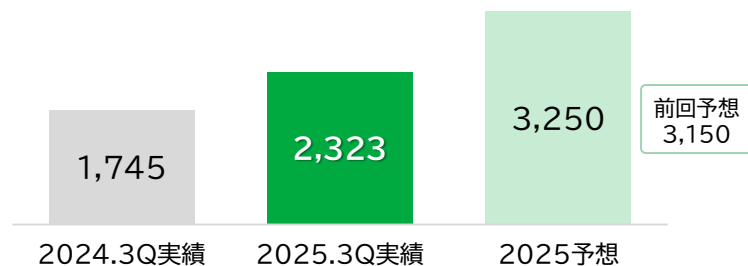
前回予想は11月5日発表値

2024年度実績は為替換算方法の変更に伴う遡及修正を反映

海外土木事業(連結)

完成工事高

(単位:億円)



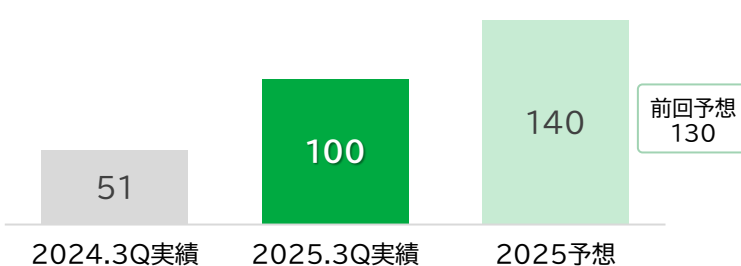
3Q実績 前年同期比 +577億円 (+33.1%)



※2024年度通期実績比

営業利益

(単位:億円)

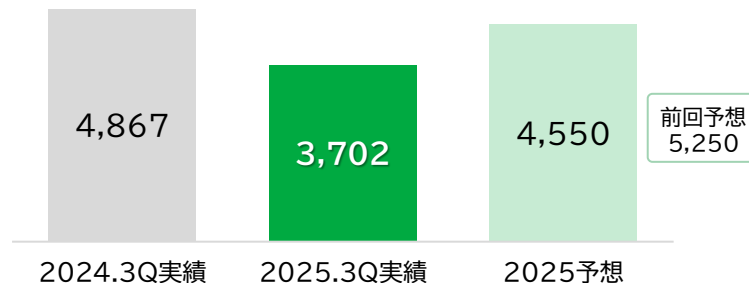


3Q実績 前年同期比 +48億円 (+95.2%)



受注高

(単位:億円)



3Q実績 前年同期比 △1,164億円 (△23.9%)



2025年度第3四半期業績

- 完成工事高は、北米子会社の豊富な手持ち工事の進捗により、前年同期比577億円の増収
- 営業利益は、完成工事高の増加に伴い、前年同期比48億円の増益
- 受注高は、アジア地域における大型案件受注の一方、北米子会社における2024年度の大型案件受注の反動により、前年同期比1,164億円の減少

2025年度通期見通し

- 完成工事高は、北米子会社の豊富な手持ち工事の進捗により、前期比で増収見込み
- 営業利益は、完成工事高の増加に加え、高採算案件の順調な進捗により、前期比で増益見込み
- 受注高は、北米子会社における2024年度の大型案件受注の反動などにより、前期比で減少見込み

2025年度予想は2月9日発表値

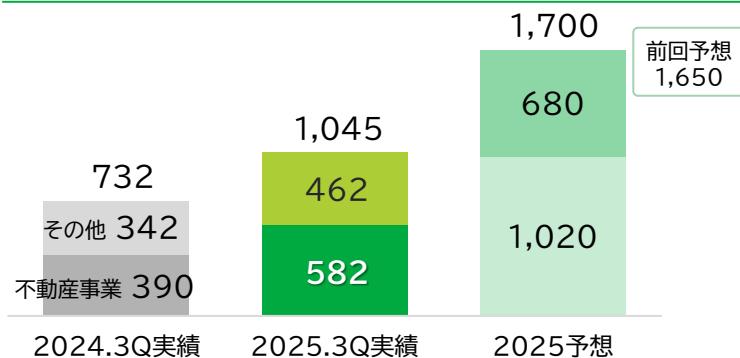
前回予想は11月5日発表値

2024年度実績は為替換算方法の変更に伴う遡及修正を反映

不動産・その他事業(連結)

売上高

(単位:億円)



3Q実績 前年同期比 +312億円 (+42.6%)

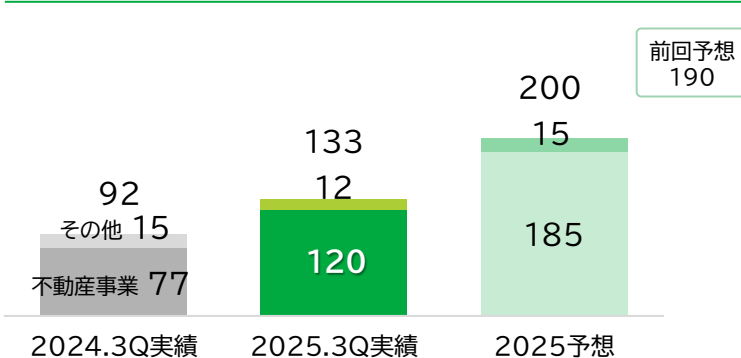
2025.3Q 進捗率 **61.5%**

2024.3Q 進捗率(※) **59.6%**

※2024年度通期実績比

営業利益

(単位:億円)



3Q実績 前年同期比 +40億円 (+44.2%)

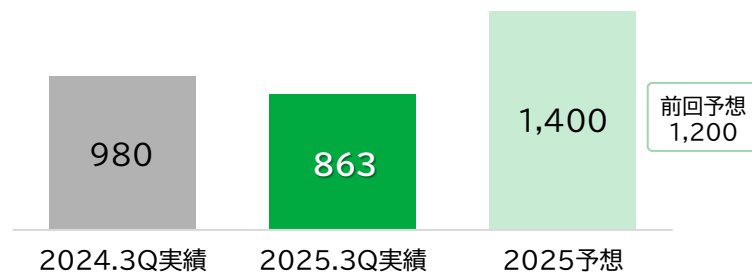
2025.3Q 進捗率 **66.7%**

2024.3Q 進捗率 **50.6%**

受注高

(単位:億円)

(不動産事業／その他の内訳は非開示)



3Q実績 前年同期比 △117億円 (△12.0%)

2025.3Q 進捗率 **61.7%**

2024.3Q 進捗率 **63.4%**

2025年度第3四半期業績

- 売上高は、不動産事業における第2四半期の開発物件売却や、その他事業における設計関連業務の収入増などより、前年同期比312億円の増収
- 営業利益は、不動産事業における第2四半期の開発物件売却などにより、前年同期比40億円の増益

2025年度通期見通し

- 売上高は、不動産事業における開発物件売却や、その他事業における設計関連業務の収入増、複数のPPP事業開始などにより、前期比で増収見込み
- 営業利益は、不動産事業における開発物件売却などにより、前期比で増益見込み

2025年度予想は2月9日発表値

前回予想は11月5日発表値(不動産・その他事業の合計値)

2024年度実績は為替換算方法の変更に伴う遡及修正を反映

MAKE BEYOND

つくるを拓く

私たちは、「ものづくり」の会社です。

その「ものづくり」の技術と知見を、

今までにないやり方で、活かしてみようと思うのです。

時代の先を思い描く、構想力。

必ずかたちにしてみせる、実現力。

そして、一人ひとりに真摯に向き合う、人間力。

これまで培ってきた力を強みに、

建設の枠を超え、新しい領域を拓いてゆくこと。

それが、これからの私たちの使命。

世界は不確かで、複雑さを増しています。

でも、そんな時代だからこそ、

私たちの「ものづくり」の考えが、新しい地平を拓くきっかけになる。

人々の暮らしを豊かで持続可能なものにする土台になる。

そう信じています。

さあ、「ものづくり」の次へ。

次の、大林組へ。